

あねがわ 姉川の戦い

川が赤くそまつた日



一五七〇年、近江の国（今の滋賀県）を流れる姉川で、大きな戦いが起こりました。織田信長と徳川家康の軍が、浅井長政と朝倉義景の軍と戦ったのです。合わせて五万人をこえる大軍だったと言われています。

長政のつまは、信長の妹・お市です。ところが信長は、長政が長年お世話になってきた朝倉家をせめました。なやんだ長政は、つまの（ ）である信長をうらぎる道を選んだのです。

戦いは朝早くに始まりました。織田軍は、じん（守りの列）を十三だんにかまえて待ちうけます。ところが浅井軍はすさまじいいきおいで、十だん目まで次々とうちやぶっていききました。このこうげきは後に「姉川の十一段くずし」とよばれました。

おされる織田軍を救ったのは、家康の軍でした。横からのこうげきで流れは一気にぎやく転し、やぶれた浅井・朝倉軍はにげ去りました。戦いのあと、姉川は血で赤くそまつたと伝えられ、近くには「血原」という地名が今も残っています。そしてこの戦いの三年後、浅井家と朝倉家は、信長にほろぼされてしまうのです。

せんたく(1)

文しように合うものはどれですか？

選んで○をつけましょう。

- ① 長政は信長をうらぎって戦った
- ② お市は徳川家康の妹である
- ③ 浅井家は戦いに勝って栄えた

せんたく(2)

文しよの（ ）に入る言葉はどれですか？

選んで○をつけましょう。

- ① 父
- ② おじ
- ③ 兄

きじゅつ(1)

浅井軍のこうげきは、後に何とよばれたでしょうか？

きじゅつ(2)

織田軍を救ったのは、だれの軍でしょうか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) にわ

(2) まめ

(3) ががみ

--	--	--

こたえ

姉川の戦い

せんたく

(1) ①
(2) ③

きじゅつ

(1) 姉川の十一段くずし

(2) 家康の軍

漢字

(1) 庭

(2) 豆

(3) 鏡

ドリパパの国語テスト 国語テスト（小学3・4年生用）